2019年 4月 15日 No.154 発行責任者 田中 孝史

かべしんぶん・かべしんぶん・かべしんぶん・かべしんぶん・かべしんぶん・かべしんぶん・かべしんぶん・かべしんぶん・かべしんぶん・かべしんぶん・かべしんぶん・かべしんぶん・かべしんぶん・かべしんぶんかべしんぶんかべしん

第154号

郵政産業ユニオン PIWU TOKYO
郵政産業労働者ユニオン東京地方本部
104-0031 東京都中央区京橋3−6−3
京橋通郵便局5F
TEL・FAX 03-3535-5447
piwutokyo@yahoo.co.jp

長時間労働をなくせ

特別条項の月８０時間は問題だ

うに行われています。欠員と業務量に見合う要員が配置されていないからです。集配労働者が残業を行った場合に2時間が限度です。それ以上やると疲れが抜けず翌日に持ち越し、健康面でも影響が出てきます。Aさんは残業なしには生活できない低賃金を大幅賃上げで生活できる賃金にしていくべきです。

他の先進国は 残業は殆どなし

ドイツやフランスでは残業は1年間に数回、数時間程度に抑えられています。それだけ要員配置がされているのです。そういう職場にしていくために郵政産業ユニオンに加入して頑張っていこう。

8時間働けば暮らせる社会を

今年の春闘はベアゼロという不満なものでしたが、これから最低賃金の引き上げを求める運動が重要になっています。全労連、全労協は「8時間働けば誰もが普通に暮らせる社会」を求め全国一律1500円にするよう運動しています。一緒に声をあげていきましょう。

んぶん・かべしんぶん・かべしんぶん・かべしんぶん・かべしんぶん・かべしんぶん・かべしんぶん・かべしんぶん・かべしんぶん・かべしんぶん・かべしんぶん・かべしんぶん・かべしんぶん・かべしんぶんかべしんぶんかべしんぶんか